

プレゼンテーションテーマ

男性・女性、各々の意識改革には何が必要か

～ 相互理解 ～



JUMP UP WOMEN SAGA

ワーキンググループBグループ

2020年2月21日



男女共同参画に関する 佐賀県の現状

現状～市況調査～



男女共働き率



女性管理職登用率



家事シェア力

< 2020年1月23日 毎日新聞記事より抜粋 >

育休夫の3割 家事・育児「1日2時間以下」

育児休業を取得中の男性の3人に1人は、家事・育児に関わる時間が1日2時間以下であることが民間の調査で分かった。家事などに不慣れだったり、目的意識が低かったりするのが主な理由。男性の育休取得が叫ばれる中、「ただ取得するのではなく、出産前に夫婦で分担方法やメリットを話し合い、充実した育休にすることが必要だ」と指摘している。

調査は、子育て支援アプリ

妻の半数取得望まず

を運営する「コネヒト」などが昨年10月、インターネットで実施。子どもがいる女性3899人から回答を得た。

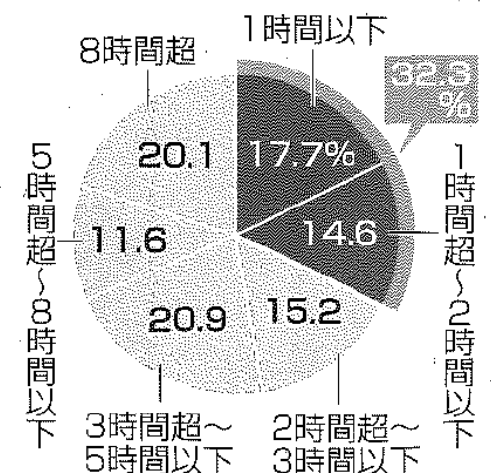
夫が育休を取得した508人に家事・育児時間を尋ねたところ、「1時間以下」「1時間超2時間以下」が計32.3%だった。最多は3時間超5時間以下の20.9%。

自由記述では「家事をしてこなかった人でスキルが足りなかった」「自分の事ばかり優先せず、子どもと接する時

間を充実させてほしかった」と妻の不満が根強い一方で、「お互いの立場を経験し、絆が深まった」といった意見があった。

夫が育休を取得していない人に「今後取得してほしいか」と聞いたところ計47.5%が「そう思わない」と回答。同社は「妻が期待するほど夫の協力が望めないことや、収入が減ることが影響しているのではないかと分析している。

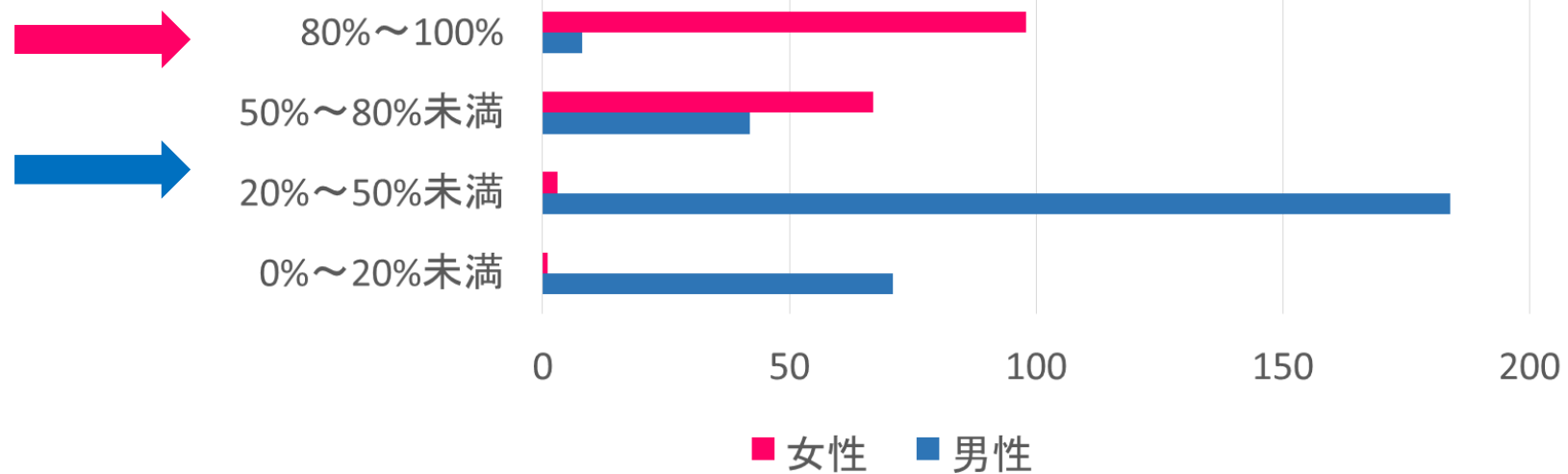
育休中の男性の家事・育児時間(1日当たり)



※コネヒト(株)などの調査。四捨五入のため合計は100%にならない

現状～アンケート調査～

家事分担割合（配偶者あり） 男性305名、女性169名が回答



私9割
夫1割

私3割
妻7割



※ 2019年度佐賀県女性の活躍推進佐賀県会議会員企業アンケートより

佐賀県の現状に対する考察

1. 佐賀県では、共働き率が高い割には、女性管理職登用率が低い。
家事シェア率を調査してみると、全国ワースト3位であり、
女性に家事負担が重くのしかかっている
と言える。



2. 家事分担の意識調査をアンケート
女性は90%の負担割合が、一番多い
に対し
男性は30%の負担割合が、一番多い
であった。

女性と男性の**家事分担割合に認識度が大きく違う**状況。

名もなき家事





できることとは？

認識の差を埋めるために、身近なことから取り組もう！

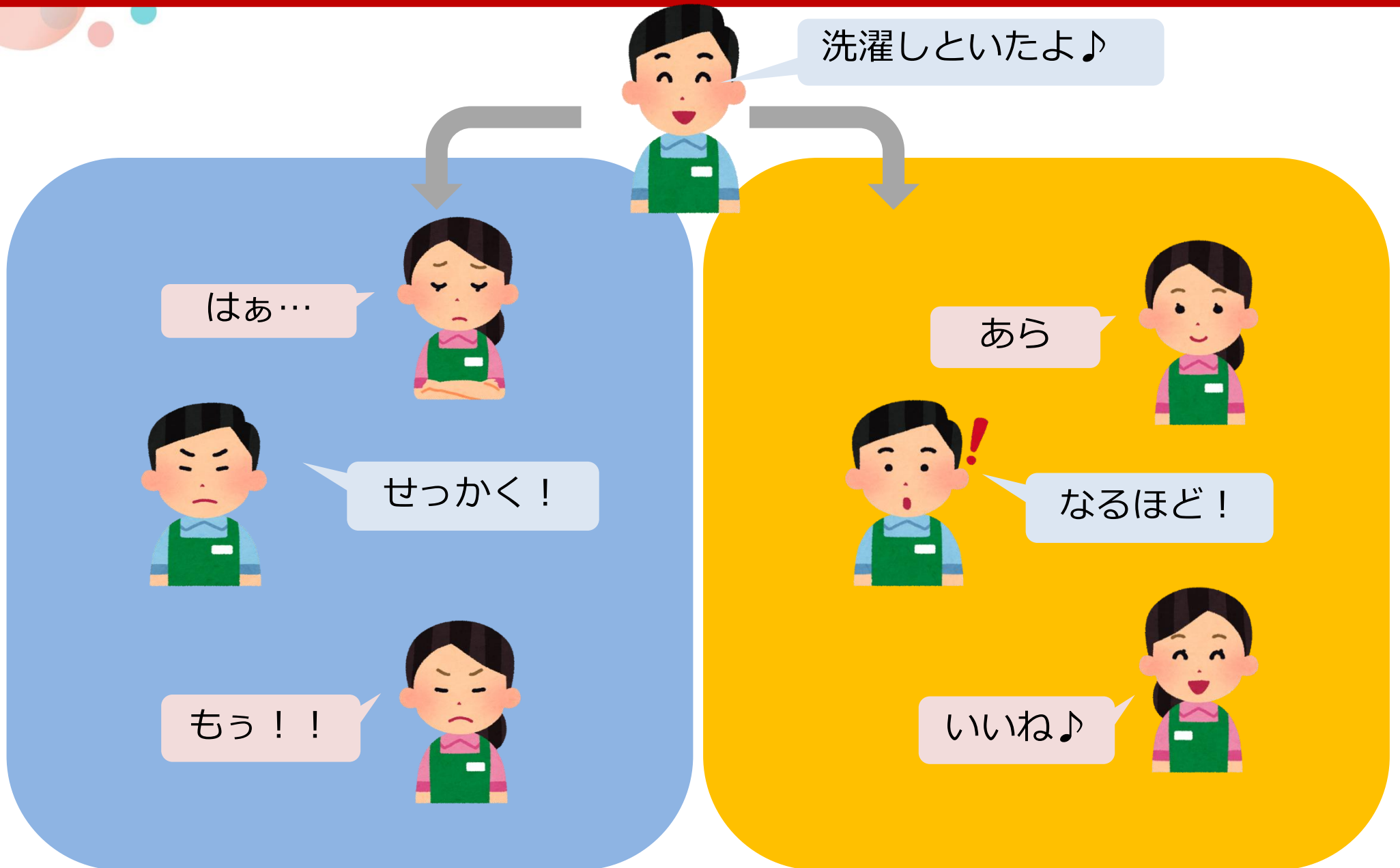
話し合う



聴き合う

- お互いを理解する姿勢をもつ
- 白黒明確にすることが絶対ではなく、互いの考えを理解しグレーな答えを認めることも必要

ケース①家庭における会話（夫が洗濯をした際の会話）



ケース② 職場における会話（時短社員について）

先輩社員 1 先輩社員 2

ズルいね



そうかな…

時短社員 A



ふん！

時短社員 B



はあ…

先輩社員 1 先輩社員 2



頑張っている
よね

うんうん

時短社員 C



よし♪
頑張ろう！



家庭においても
会社においても

相手を理解しようと努める

ことが重要です

！コミュニケーション3つの力！



観察力

「自分を知る」「相手を知る」

- アンコンシャスバイアス = 無意識の偏見（特にマイナス）



傾聴力

「聴く」ことが重要

- あいづち・うなずき・繰り返し
- 話しやすい環境づくり



伝達力

「思い」を伝える

- 率直な気持ちを言葉で伝える
- 表情・声の調子・ジェスチャーを交えて



ご清聴ありがとうございました



JUMP UP WOMEN SAGA

ワーキンググループBグループ